

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成24年9月13日(2012.9.13)

【公表番号】特表2011-528990(P2011-528990A)

【公表日】平成23年12月1日(2011.12.1)

【年通号数】公開・登録公報2011-048

【出願番号】特願2011-520223(P2011-520223)

【国際特許分類】

**B 01 D 46/52 (2006.01)**

【F I】

B 01 D 46/52 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年7月20日(2012.7.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) 第1面を形成する第1組のひだの折り目および第2面を形成する第2組のひだの折り目を有するろ過媒体であり、前記第1組のひだの折り目および前記第2組のひだの折り目の間に往復配置されて広がるろ過媒体、  
を含むひだ付きろ過媒体パックであって、

(b) 前記第1組のひだの折り目および前記第2組のひだの折り目の間に広がる前記ろ過媒体の少なくとも一部分が、第1組の溝流路のピークおよび第2組の溝流路のピークを形成する溝流路を含み、この溝流路は、前記第1組のひだの折り目から前記第2組のひだの折り目への方向に延びており、

(c) 前記ひだ付きろ過媒体パックにおける溝流路の少なくとも25%が、溝流路の隣接ピークの間の少なくとも1つの隆起部(リッジ)であって、前記第1組のひだの折り目および前記第2組のひだの折り目の間の前記溝流路の長さの少なくとも25%に沿って延びる少なくとも1つの隆起部(リッジ)を含み、かつ、

(d) 前記第1組のひだの折り目から前記第2組のひだの折り目に延びる前記溝流路の少なくとも一部分が、少なくとも1.05のD2/D1値を含み、但し、D1は前記溝流路の幅であり、D2は前記溝流路の幅に対応する媒体の長さである、  
ひだ付きろ過媒体パック。

【請求項2】

前記第1の溝流路のピークまたは前記第2の溝流路のピークの少なくともいずれかが、約1mmより小さい半径を有する、請求項1に記載のひだ付きろ過媒体パック。

【請求項3】

前記ろ過媒体が少なくとも50%の媒体容積の非対称を呈する、請求項1に記載のひだ付きろ過媒体パック。

【請求項4】

前記媒体が少なくとも1%の媒体うねり率を有する、請求項1に記載のひだ付きろ過媒体パック。

【請求項5】

前記溝流路は、幅(D1)の高さ(J)に対する比(D1/J)が、少なくとも2.0である、請求項1に記載のひだ付きろ過媒体パック。